

横浜市と山東省港口集团有限公司が 港湾の相互協力に向けた覚書を締結しました！

全自動化コンテナターミナルを有する青島港など、山東省内の7つの港を一体的に管理する山東省港口集团有限公司と、相互の貿易と海運、客船寄港を促進することを目的として、令和元年12月6日（金）に、港湾の相互協力に向けた覚書を締結しました。

※山東省港口集团有限公司・・・2019年8月に山東省内の港湾運営会社の一体化経営を目指して発足した国有企業。青島港集團（青島港・威海港）、煙台港集團、日照港集團、渤海湾港集團（潍坊港、東營港、濱州港）を傘下に置く。



1 覚書の概要

- (1) 次の分野に関する、港湾の運営・管理に関する情報の交換
- ① 港湾計画や開発
 - ② ICT環境の推進
 - ③ 環境に配慮した取組み
 - ④ 観光/クルーズ
- (2) 職員の交流と相互訪問の強化

2 覚書締結によるメリット

- (1) 青島港はコンテナ取扱量が1,930万TEU（2018年実績）であり、先進的な全自動化ターミナルを有し、その運営手法について学び、今後の計画に生かすことが期待できます。※横浜港コンテナ取扱量：305万TEU（2018年実績）
- (2) クルーズターミナルが街中にある青島港は、横浜港の大さん橋や新港ふ頭と同様の環境にあり、観光や街の活性化とクルーズの連携について、共に研究を進めます。

3 覚書締結式の様子



お問合せ先

港湾局賑わい振興課長 有路 益義 Tel 045-671-2874